

大淀防犯協会豊崎支部

❖ 発 表

大淀防犯協会豊崎支部

小玉 始 様

- 設 立 昭和59年5月
- 活動地域 大阪市立豊崎小学校校区（大阪市北区）
- 構成人員 65人
- 設立の趣旨
「住民による犯罪のない、明るく住みよいまちの実現」を目指して、地域の安全と住民相互の連帯感を高めるために結成した。
- 活動内容
未来を担う子どもを犯罪から守るため、地域の防犯委員らが中心となって、児童の下校時間帯に、青色防犯パトロール車両に乗車して、子ども見守り活動を実施している。
また、街の美観を損ない、犯罪を誘発すると言われている「落書き」の消去活動を毎年複数回実施しているほか、歳末夜警などの防犯活動も積極的に実施している。

豊崎地域の防犯活動について

大淀防犯協会豊崎支部

豊崎地域



豊崎地域（国勢調査調べ/H27）
人口：6,286人
世帯数：3,846世帯
町会数：8町会

大淀防犯協会豊崎支部の 設立のきっかけ

設 立 平成59年5月

活動地域 大阪市北区豊崎小学校区（豊崎地域）

地域住民・行政・警察が一体となって防犯活動を推進するため「犯罪がない安全で安心して住めるまち」をつくることを目的として、昭和59年5月30日に大淀防犯協会豊崎支部を立ち上げました。

この間、豊崎地域の犯罪の発生は多少減少しているものの、依然として高水準で推移し、子どもに対する声かけ事案については増加傾向にあります。

そこで、未来を担う子どもを犯罪から守るため、地域の防犯委員らが中心となって、地域の自主防犯活動の一環として、「子どもの見守り隊活動」を平成16年7月から、平成20年からは「青色防犯パトロール」を開始しました。

さらに、平成22年6月からは落書き消去活動を開始し、現在に至っています。

